

エネルギー政策に関する意見箱

1. 氏名	林 勉
2. 年齢	
3. 性別	
4. 連絡先	
5. 御意見及びその理由	<p>意見：現在の世論は原発をやめるという意見が多数を占めている。しかし一旦やめる方向に舵を切ると再び原発が必要となっても戻すことは困難である。このリスクを十分に理解しなければならない。</p> <p>理由：原発はテレビや車のように単純な構造ではない。原子核反応を制御する高度な核物理、広範囲のシステム設計、様々な設備の設計・製造技術、高品質の材料供給、複雑な建設技術、運転管理技術など現代における最高のハイテク産業である。これらを支えるのは高度なレベルの人材、製造設備、多様なノウハウ等である。これらは一朝一夕にできるものではない。我が国でも長年かかって築きあげてきたものである。</p> <p>このような総合技術は一企業でできるものではなく、国の方針として官民一致協力して築き上げてきたものである。原発をやめるという方針が出れば関係企業の人材・設備・ノウハウは真っ先に失われる。この回復はほとんど不可能に近い。更に原発は立地自治体の理解の上で成り立っている。一旦やめると再度立地自治体の理解を得ることはほとんど不可能に近いと思われる。</p>